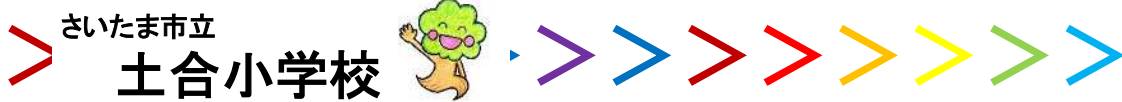


SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では、SDGs教育を推進しています。



【学校教育目標】「たしかな学び あたたかい心 すこやかな体 ゆたかなかわり合い」

【学校経営方針】「地域と共に歩む 明るいあいさつ かがやく笑顔」

【めざす学校像】「あいさつと笑顔があふれる、信頼と潤いのある学校」

本校は、さいたま市の西南部・桜区西堀にあり、明治6年に本校前身の西堀学校が創立されて以来、明治、大正、昭和、平成、令和と激動の時代を地域の教育愛に支えられ、輝かしい歴史と伝統を築いてきた市内有数の伝統校の一つです。

これまでに一万有余名の卒業生を送り出し、創立130周年を迎えました。

■所在地：さいたま市桜区西堀7丁目21番1号 ■電話：048-862-5156
 ■FAX：048-836-1580 ■交通：JR中浦和駅徒歩17分 西浦和駅徒歩23分

01 保護者・地域による児童見守り活動



地域の方による「下校時安全ネットワーク」、「ながらボランティア」、「育成会パトロール」、PTA 校外委員による旗振り・見守り活動等、保護者・地域の皆さんの数多くの協力を得て本校の児童の安全が守られています。

今後も、地域の皆さんへの感謝の気持ちを大切にし、地域と共に歩む学校であり続けます。



02 「カエルの里」復活プロジェクト



本校中庭に在来種である「トウキョウダルマガエル」「アズマヒキガエル」を呼び戻す活動を行っています。そのため、稲や水草などの植物を育て、オタマジャクシが育ちやすい環境を整えたり、中庭の池の水を抜き、大掃除をするとも外来種の植物を排除したりしました。カエルに限らず、絶滅危惧種であるミナミメダカなど昔から日本に生息する動植物を守り続けています。



03 届け！土合小の気持ちプロジェクト



東南アジアの子どもたちに使わなくなった靴や文房具を送る活動を行っています。

児童のワールド委員会が中心となり、不用品の回収、送付を行っています。NPO 法人 S.B Heart Station の協力により、タイ、カンボジア、フィリピンの子どもたちに届けられています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では、SDGs教育を推進しています。

さいたま市立 大久保小学校

1 学校教育目標

「ゆめにむかって かしこく やさしく たくましく」

- 「進んで学ぶ子」「心豊かに人とかかわる子」「心身ともにたくましい子」の育成を目指し、可能性を引き出す教育の推進
- 創立92周年を迎え、長く地域に根差した学校



■所在地：さいたま市桜区五関2-1 ■電話：048-854-7636
 ■FAX：048-840-1425 ■交通：西武バス「大久保」徒歩1分

01 学習指導の工夫改善のために



本校では、昨日できなかったことを今日できるようにする教育の推進をめざし、学習指導の工夫改善・充実を図っています。

全ての児童に学びを保障するため、授業の基本形となる「大久保スタンダード」を作成し、どの教員も質の高い授業づくりができるような体制づくりに努めています。児童一人一台配布されたタブレット端末を、よりわかりやすい授業のために、自分の考えを深めたり、広げたりと様々な場面で活用しています。



02 「食」について考えさせるために



児童の「食育」の充実のために近隣の畑を借り、「大久保レインボーファーム」として野菜の栽培を行っています。

児童は、草取りなど畑のお世話を通し、食べ物を作る大変さ、自然と触れ合う楽しさを学びます。収穫をした野菜は、給食で使用したり、ポップコーンを作ったりとおいしくいただけます。市内のシェフによる特別な給食や、栄養教諭・養護教諭など専門の教員と連携した、実践的な食育の授業を行っています。



03 福祉に関心をもち、生活につなげるために



ブラインドサッカーの体験学習を実施しています。児童は、選手の話を知ったり、実際にブラインドサッカーを体験したりすることで、目の見えない生活の苦労を知るだけでなく、目が見えなくても前向きな気持ちで生活していることを知り、学びを深めています。また、車椅子や白杖を借用して学校で実際に体験し、知識だけの学習にならないように努めています。道徳の時間との連携を図り、誰もが生活しやすい福祉の充実したまちづくりに参画する意識を高めています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では、SDGs教育を推進しています。



さいたま市立
栄和小学校



栄和小学校の教育目標

『かしこく・やさしく・たくましく』

かしこく（知）=基礎・基本の学習を定着させ、向上心と自主性を育成する
 やさしく（徳）=思いやりと感謝の心を大切に、協働・自尊感情を育成する
 たくましく（体）=心身ともにたくましく、ねばり強い力を育成する

栄和小学校のスローガン【花と歌と笑顔あふれる学校】

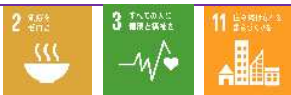
花：潤いのある美しい環境
 歌：豊かな心、響き合う心
 笑顔：やさしさと思いやり



■所在地：さいたま市桜区栄和1丁目7番1号 ■電話：048-853-4022

■FAX：048-840-1427 ■交通：JR埼京線南与野西口より埼玉大学行「栄和北町」下車徒歩7分

01 地域とともにある学校づくり



本校では、「総合的な学習の時間」において、地域とともに、横断的な学習を行っている。第3学年の「さかわの今と昔」では、学校探検を通して、いろいろな環境や設備、自然に囲まれているということや、伝統や文化などが大切にされていることについて考えを深めていく。第4学年の「未来のわたしへのおくりもの」では、人生100年時代を見据えて健康で豊かな人生の実現に果たす役割に気づき、自分の健康への関わり方について考えるとともに、健康の保持増進に資する生活ができるようにする。第5学年「共に生きる～人にやさしいまちへ～」では高齢者のくらしを支える人々の取組や思いに気づき、誰もが心地よく生活できる共生の在り方について考えていく。第6学年「卒業していくわたし」では、卒業に向けての学習のまとめを行う活動を通して、お世話になった人たちに感謝の気持ちを表す必要性に気づき、何ができるかを考え、一人ひとりかけがえのない存在であることを理解していく。

それぞれの活動を通して、目標2「飢餓をゼロに」、目標3「すべての人に健康と福祉を」、目標11「住み続けられるまちづくり」に寄与できる児童を育成していきたい。

02 自分の思いや考えを表現できる児童の育成



「主体的に学習に取り組み、自分の思いや考えを表現できる児童の育成」を研究主題として、研究をスタートした。市や全国の学習状況調査の結果を受け、子どもたちがどのような問題でつまづいているのか、分析を十分に行って教職員で共通理解を図る。よい授業、よりよい手立てを示すことにより自分の思いや考えを表現できる児童を育成するとともに質の高い教育を目指していく。

よい授業、よりよい手立てを示すことにより自分の思いや考えを表現できる児童を育成するとともに質の高い教育を目指していく。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立
田島小学校



校訓 『強い子、田島小学校』

強い頭 (学びの楽しさを育む) 強い心 (あたたかい心を育む)
強い体 (健康な心身を育む) 強い絆 (地域で育む)

《学校教育目標》

心豊かである子

・進んで学習する子 ・思いやりのある子 ・健康で明るい子



■所在地：さいたま市桜区田島 10-12-1

■電話：048-863-8122

■FAX：048-836-1578

■交通：JR 西浦和駅徒歩 15 分

01 豊かな自然環境を生かした栽培活動・環境教育の充実



本校は、学校ファーム、野鳥の森、学校のすぐ隣の荒川の土手等、自然豊かな環境に囲まれています。学校ファームでは、年間を通じて作物を栽培し、苗植え、水やり、収穫や観察等を行っています。「畑の先生（地域のボランティア）」の協力を得ながら、作物を作る喜び、大変さを実感すると共に収穫したものを家庭に持ち帰り、食べることで、残さずいただくことを大切にできる児童を育てています。また野鳥の森、土手、彩湖公園を活用し、季節ごとの植物や昆虫を見る・触れる採取する学習を通して、豊かな自然をこれからも守っていかうとする気持ちを高めていきたいと考えています。こうした活動を通して SDGs の目標 12 「つくる責任つかう責任」、目標 15 「陸の豊かさも守ろう」に寄与していきたいと考えています。



02 学校給食から始める食品ロスへの取組（児童そして家庭へ）



「夢の給食」「揚げパン総選挙」「スパゲティ総選挙」「カレー総選挙」と題して、アンケートを取り、児童の声を反映した献立にする取組や、給食で使うトウモロコシの皮むき体験を実施すること等を通して、児童が毎日の給食への関心をもてるような様々な企画を実施しています。昼の放送を活用し、食材についての説明を行い「残さずきれいに食べましょう」の合言葉を毎日伝えています。また、家庭への食に関する啓発として、給食試食会や毎月家庭でできる献立を給食日より等で発信するなど食事の大切さ、いろいろな食材を食べることへの意識付けを家庭の協力も得ながら実践しています。家庭からは、「初めてこの食材を使いました」、「子どもが苦手としていた野菜を、教えていただいたレシピで作ったら、おいしいと言って完食しました」などという声をいただきました。このような取組を行ってきたことで、学校においては、昨年度の残食率が平均 1.5% 以下など、効果が始まっています。この取組を継続し、食の大切さを伝えるとともに、第 6 学年の総合的な学習の時間におけるユニセフの活動を学習する際に、国際協力の大切さにつなげていきたいと考えています。こうした活動を通して、SDGs の目標 2 「飢餓をゼロに」に寄与していきたいと考えています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDG s 教育を推進しています。

さいたま市立 大久保東小学校

学校スローガン

『輝く笑顔 「あい」 でつながる 大久保東小学校』

本校はこのスローガンのもと、
 「笑顔であいさつや返事ができ、思いやりがある子」
 「話をよく聴き、進んで学習する子」
 「自分の目標に向かって、ねばり強く努力する子」
 の育成を目指しています。



■所在地：さいたま市桜区大久保領家 331 ■電話：048-852-3065
 ■FAX：048-840-1426 ■交通：北浦和駅よりバス 20 分

01 すべての人に健康を届けるために



本校では、児童による国際・福祉委員会発案のもと、ペットボトルキャップ



回収を行っています。大久保東小学校全員で集めたペットボトルキャップは、ポリオワクチンになり、薬が買えない子どもたちに届けられます。

コロナ禍にあり、思うように生活できない日々が続いていますが、大久保東小学校の子どもたちは、世界中で薬がなく困っている子どもたちのために今年度もペットボトルキャップ集めに取り組んでいます。

02 地域との協働のもと心安らぐ学校づくりを



本校では、児童による飼育・栽培委員会を中心に、地域ボランティアさんと協働し



て学校の緑化活動に取り組んでいます。地域ボランティアさんは、「花を見た人の心が少しでも明るくなればうれしい」と話してくれました。

大久保東小学校の子どもたちはもちろん、保護者や地域の方々が集まる大久保東小学校を花でいっぱいの美しい学校にし、地域の憩いの場にしたいと考えています。

03 誰にとっても学びやすい環境でわかりやすい授業を



本校では、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた教室環境の整備に取り組んでいます。教室前面のレイアウトを全校で統一することで、児童が集中して授業に臨むことができる環境を目指しています。そして

授業のねらいや流れを明確にすることで、児童が見通しをもって授業に参加でき、「できた！わかった！」と声ごとびかう様な誰もがわかりやすい授業を目指しています。

また、国語科を柱に授業改善に取り組んでいます。「アクティブ・ラーニング型授業」を充実させ、協働の心を育てています。

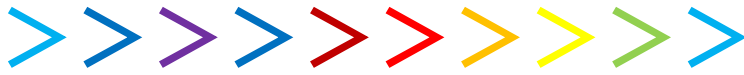
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立
新開小学校



- 1 学校教育目標「夢にむかって ともに学びあう学校」
～学校・家庭・地域が信頼の絆で結ばれた、ぬくもりのある学校～
- 2 めざすしびらきっ子
「ひとみ輝く」「明るく」「あたたかく」「ねばり強く」
- 3 自然豊かな環境に恵まれているユネスコスクール
「環境教育」「人権教育」「福祉教育」



■所在地：さいたま市桜区新開2丁目18番1号

■電話：048-864-6741

■FAX：048-836-1577

■交通：JR武蔵野線 西浦和駅 西口 徒歩17分

01 環境を守る学習やリサイクル活動の取組



本校では、総合的な学習の時間に環境を取り上げ、「サクラソウ」や



「カントウタンポポ」などをテーマに学習を深めています。特に「サクラソウ」については、近隣に国の特別天然記念物に指定されている「田島ヶ原サクラソウ自生地」があり、サクラソウを守る会の方にお話を伺い、サクラソウの知識を得るとともに、実際に自分たちで「サクラソウ」を育てながら学習を進めています。数が減少してきている「カントウタンポポ」についても、花の仕組みや自生地、減少の理由など、環境を守るためのテーマをもとに議論しながら、学習を進めています。そして、秋ヶ瀬公園のごみ拾い、紙のリサイクルやコンタクト空容器の回収など、環境を守る活動につなげています。

02 思いやりと人権意識を育む取組



児童会活動や学級活動を中心に、いじめ撲滅強化月間、小さな親切運動などを通して、自他を尊重する心、正義を愛する心を育み、望ましい人間



関係の構築といじめの防止に取り組めます。また、校長講話や道徳の授業等を通して、家族愛や、家族と深い人間関係を結ぼうとする心情を育みます。

03 地域の方から思いやりを学ぶ取組



地域の防犯ボランティアの方々との関わりや、障害のある方との関わりを通して、思いやりや助け合い、福祉、奉仕活動などに関心もち、あいさつ運動、クリーン活動、

募金活動など小さな親切に取り組もうとする態度を育みます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立
神田小学校



【学校教育目標】
人間性豊かで 21 世紀をたくましく生きる 神田の子
かしこく たくましく あたたく



目指す児童像

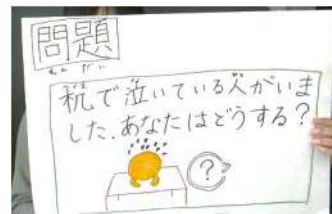
○自ら判断し実践する子	○心身ともにたくましい子	○思いやりのある子
<ul style="list-style-type: none"> ・しっかり話を聞く子 ・考えて行動する子 ・自ら学ぶ子 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで体を動かす子 ・くじけないで最後までがんばる子 ・自ら健康で安全な生活を送る子 	<ul style="list-style-type: none"> ・自らあいさつする子 ・なかよくする子 ・相手を理解し、互いに尊重する子

■所在地：さいたま市桜区神田 541-1 ■電話：048-853-4377
■FAX：048-840-1428 ■交通：JR 北浦和駅西口よりバス 15 分

01 すべての児童が安心して通える学校づくり



本校では、「基本的な生活習慣を身に付けさせるとともに、思いやりのある子を育てる」を目標に、生徒指導を展開しています。



(1) 学校生活におけるきまりの見直しと徹底

「神田の子 よい子のくらし」という生活のルールについて、学校評価アンケートで各ご家庭・児童から意見を募り、より良い形への見直しを図りました。校内での基本的な生活習慣の確立を図るとともに、現実に即した形に柔軟に変えていくことで、きまりを守り落ち着いて学び合える環境をつくれるように努めています。

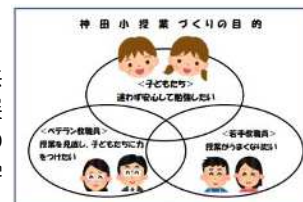
(2) いじめ撲滅に向けた取組の展開

代表委員会が中心となって全校にアンケートをとり、そのアンケート結果を基にいじめ防止に関するクイズを作成・実施しました。全校が一致団結して「いじめをしない・許さない」「いじめに立ち向かう」という気持ちをもって行動できるように努めています。

02 「神田小授業づくり」の作成・導入



本校では、各教員が共通理解のもとに授業を展開し、学年や担任がかわっても児童が安心して学べるようにしています。



(1) 授業研究から得た知見の活用

令和4年度に校内で行った授業研究会、「学習指導要領解説」「新さいたま市の授業づくり」「さいたま市アクティブラーニング型授業」を基に各教科の学習過程を分析し、共通点を抽出しました。これを「神田小授業の学習過程」として、全授業で実施しています。

(2) 共通の学習グッズと授業のやくそく

「黒板掲示物」「ノートのやくそく」「板書のやくそく」「号令のやくそく」を全校で統一することで、児童がストレスなく学習に取り組めるようにしました。また常に見直しを図り、更新・改善を通して日々の授業が児童の資質・能力の育成につながるように努めています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



学校教育目標
 具体目標
 めざす児童像

「心豊かでたくましく 共に生きる児童の育成」
 [よく学び よく遊び よく働く]

生活の基本

中島小3つの大切

あいさつ かんきょう はきもの

行動の基本

中島小4つの行動

やさしい心でなかよくしよう

自分の行動に責任を持とう

にがてなこともがんばろう

4つの言葉をたいせつにしよう

■所在地：さいたま市桜区中島1-28-1 ■電話：048-854-9900
 ■FAX：048-840-1429 ■交通：JR埼京線南与野駅より徒歩15分

01 ペットボトルキャップの回収



材質が均一で、マテリアルリサイクルが容易なペットボトルキャップを回収し、その対価でワクチンを寄付する活動をしています。今まで廃プラスチックに分類されてきたペットボトルキャップを回収することで、環境への配慮をするとともに、世界で病気の危険に直面している子どもたちを救うことにもつながります。

本校では、福祉・ボランティア委員会の児童が中心となって、児童・家庭・地域に呼びかけ、毎週金曜日の朝にペットボトルキャップの回収に取り組んでいます。年々、児童の意識も高まり、たくさん集まるようになってきました。

02 安心・安全な給食から食品ロスへの取組



本校では、「給食試食会」「給食だより」「学校ホームページによる献立紹介」などを通じ、家庭や地域に向けて安心・安全な給食を提供していることを発信しています。

また、給食委員会の児童により、「感謝の気持ちをもって食べる」ことを意識できるような活動が年間を通して行われています。その1つに「食缶空っぽデー」「片づけ名人キャンペーン」などがあります。



児童一人ひとりが無理のないように自分の分量を食べるとともに、「いただきます」の意味を考え、作ってくれた人への感謝の気持ちをもてるように様々な活動をしています。学校での活動が、家庭での食育につながるように、積極的な情報発信と児童の主体的な活動ができるよう取り組んでいます。